

取扱説明書

モノタロウ 電波掛時計カレンダー温湿度計付 注文コード: 7298351

このたびは、電波掛時計カレンダー温湿度計付をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや損害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

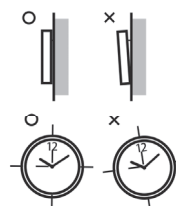
【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

⚠ 警告

- 本製品を本来の用途以外で使用しないでください
- 落下や過度の衝撃、振動を与えないでください。
本製品を破損したり重大な事故を引き起こすおそれがあります。
- 本製品に破損、異常個所がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池は分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。
液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。
万一、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガのおそれがあるので、すぐに水で洗い流してください。
目に入ったときには失明などのおそれがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- 掛け方が不適切な場合、落下する危険がありますので以下の注意事項をお守りください。
 - ・ 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。
 - ・ 時計は垂直・水平に掛けてください。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
 - ・ ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けてください
 - ・ 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けしないでください
 - ・ 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながるおそれがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けてください。
 - ・ 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。
(材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等に相談してください。)
- 高温や低温のところ、直射日光のあたるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしないでください。

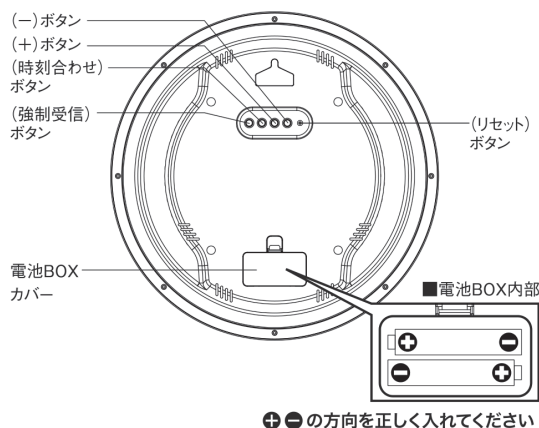


製品仕様

受信電波	長波JJY(標準電波)	温度表示精度	±3℃
受信周波数	40kHz/60kHz自動切換式	湿度表示範囲	10%~90%(温度は0℃~60℃) (10%以下の場合はLL,90%以上の場合HH.と表示)
動作電圧	2.6V~3.3V	湿度表示精度	常温時、40%~60%±8% その他の範囲±10%
自動受信回数	1日に6回(午前1時、3時、5時、午後1時、5時、9時)	使用電池	単3形アルカリ乾電池2本(別売)
時間精度	受信していない時、平均月差±30秒以内(常温使用時)	付属機能	夜間秒針停止(PM10時~AM6時) 手動時刻設定機能、強制受信機能、カレンダー表示、温度表示、湿度表示
使用温度範囲	0℃~+40℃		
温度表示範囲	-9.9℃~+60℃(-9.9℃以下の場合LL,+60℃以上の場合HH.と表示)		

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。 ※ 温度・湿度表示機能は本体にセンサーが内蔵されているため、時計周囲の温度・湿度が変化すると表示が安定するまで時間がかかります。
その場合"-"表示になります。

各部の名称



商品の特長

- この時計は正確な時刻情報をのせた標準時刻電波を受信すると、自動的に正確な現時刻を表示する電波時計です。
- 電波の受信できない場所では、クォーツ時計として作動し、その誤差は月差±30秒です。
- 40kHz/60kHzいずれか受信状況の良い周波数の電波を選択して受信します。
自動受信機能により、1日6回(午前1時、3時、5時、午後1時、5時、9時)時刻修正を行ないます。
- 午後10時から午前6時の間は秒針が12時の位置で停止します。

ご使用方法

■ 時刻を合わせる

- ・ 電池を入れます。(アルカリ乾電池推奨)
- ① 電池ボックスの表示に従い、電池の極性(⊕ ⊖)の方向を間違えないように⊖側から完全にはめ込んでください。

⚠ 注意

- 極性(⊕ ⊖)を逆にすると時計は作動しません。また、故障の原因になります。
- ② リセットボタンを押してください。
- ③ 温度、湿度が表示されると同時に、針が高速回転します。
秒針に続き、時分針が12時の位置で停止すると、液晶が"1月1日(日)"を表示します。時分針が12時の位置で停止するまで、最大約5分かかります。
- ④ アンテナマークが点滅し、自動受信を開始します。
※ 受信するまで、約4分~12分かかります。
※ 受信するまでは、時計を縦置きしたり、壁に掛けたりすると受信しにくくなるので、机の上などに横置きにすることをお薦めします。



- ⑤ 受信に成功すると、針が高速回転して受信した時刻を示し、アンテナマークが点灯します。
- ※ 受信できなかった場合は、アンテナマークが消え、そこから運針を開始します。
- ※ 受信できなかった場合は、場所を変えるなど、受信しやすい環境に移し、リセットボタンを押して、前記「**■時刻を合わせる**」の②以下を行なってください。
- ※ 電池をセットしてから受信完了までの時間は地域、環境条件によって異なります。初めて電池をセットし、電波を受信しなかった場合でも、夜間は昼間と比べて電波受信状況が良くなるため、一昼夜放置して、受信ができるか確認してください。
- ※ 万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いて、もう一度上記①～⑤を行ない受信させるか、後記「**■手動で任意の時刻を設定する**」で時刻設定をしてください。
- ※ 受信に失敗した場合は、午後1時に再度受信を開始します。そのとき受信できなかった場合は、その後の自動受信時刻に順次受信動作を行います。(最多6回)その間、一度も受信できなかった場合は、翌日の午後1時に再び受信開始します。

受信しづらい、まれに誤った時刻を表示する場合

- ご使用していて、受信がしにくい、誤った時刻を表示するなどの症状があった場合は、窓のそば、送信所に対して本製品の方向を合わせる、金属製品から離すなど、置き場所を変えて設置すると、それらの症状が改善される場合があります。
- 電波時計は、微弱な電波を受信して時刻を修正しています。この微弱な電波を受信するアンテナは、送信所に対しての向きが合っていない場合、すぐ近くに金属製品がある場合、本書に記載のノイズの発生源が近くにある場合や、地下室、ビルの中など電波のとどこにくい場所では、受信能力が低下します。

■ 自動受信機能

自動受信とは、あらかじめ設定されている時刻になると、自動的に受信動作を行い、自動で時刻を修正することです。この時計では1日最大6回行ないます。

■ 自動受信以外で受信させる

- ① 任意に電波受信させる機能です。
- 通常運針をしているときに(強制受信)ボタンを3秒以上長押しすると「強制受信」になります。秒針が動いて12時の位置で停止し、受信動作を開始します。(アンテナマークが点滅します。)
- ② 受信に成功すると、針が高速で回転して、受信した時刻を表示します。(アンテナマークが点灯します。)受信できなかった場合は、強制受信を行う前の時刻を表示します。(アンテナマークが消えます。)
- ※ 受信中に(強制受信)ボタンを押すと、強制受信が解除されます。
- ※ 受信中に本製品を動かすと、受信能力が低下します。
- ※ 受信に成功するまでの時間は、地域、環境条件によって異なります。
- ※ 万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度(強制受信)ボタンを押して強制受信させるか、後記する「**■手動で任意の時刻を設定する**」で時刻設定をしてください。

■ 手動で任意の時刻を設定する

- ① 通常運針をしているときに(時刻合わせ)ボタンを3秒以上長押しすると、液晶の"年"が点滅します。(十/一)ボタンで設定してください。
- ② (時刻合わせ)ボタンを押すと、液晶の"月"が点滅します。(十/一)ボタンで設定してください。
- ③ (時刻合わせ)ボタンを押すと、液晶の"日"が点滅します。(十/一)ボタンで設定してください。
- ④ (時刻合わせ)ボタンを押すと、液晶の"時"が点滅します。(十/一)ボタンで設定してください。
- ⑤ (時刻合わせ)ボタンを押すと、液晶の"分"が点滅します。(十/一)ボタンで設定してください。秒は0秒にリセットされます。
- ⑥ もう一度(時刻合わせ)ボタンを押すと、年月日、時刻が確定し、時刻と曜日が表示されます。
- ※ そのまま何もしないでいると、30秒後にそのときの設定で確定し、液晶に時刻と曜日が表示されます。
- ⑦ すぐに秒針、分針が高速回転して、液晶表示されている時刻を示し、運針を開始します。液晶表示が月日、曜日に変わります。
- ※ 液晶で設定した時刻と、針が表示している時刻との差が2分以内のときは、針は動きません。
- ※ 手動時刻設定中、及び運針中は手動時刻設定操作は出来ません。
- ※ マニュアル設定で時刻を合わせた場合、次の自動受信時刻に自動受信を行います。1日6回(午前1時、3時、5時、午後1時、5時、9時)時刻修正を行います。

■ 秒針停止機能

- 午後10時から午前6時の間は秒針が12時の位置で停止します。
- ※ 秒針停止中に手動で時刻設定する場合は、時分針が高速回転して液晶表示されている時刻を示し、その後運針を開始します。(設定時刻が午後10時から午前6時の間にあるときは、秒針12時の位置で停止します。)

■ 電池交換

- ① 必ず新しい電池をお使いください。電池交換した後は、リセットボタンを押してください。
- ② 本製品には必ずアルカリ乾電池をお使いください。

■ 電波時計の設置場所について

- ① 受信しやすい場所
- 電波時計は、長波標準電波を受信し、表示する時計ですので電波を受信しやすい場所(例えば窓の近く)に時計を置いてください。
- ② 受信しやすい方向
- 時計の表示部、または裏面を標準時刻電波送信所に向かい合う位置に置くと、最も受信状態がよくなります。

電波時計について

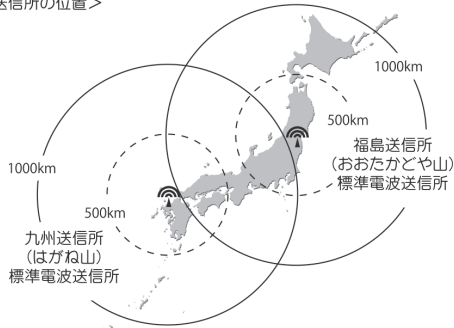
電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おおたかどや山(40kHz)」と、福島県と佐賀県の県境の「はがね山(60kHz)」の2か所から送信されています。

これらの電波は、条件の良い時は発信所から1,000～1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。

その場合はクォーツ時計として本製品仕様に記載された精度で作動します。

<送信所の位置>



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。
日本標準時プロジェクト<http://jjy.nict.go.jp/>
※ 送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。
※ 上記のURLは予告なく変更される場合があります。

使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルとの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)。
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

電池の取扱いについて

- 電池を誤使用すると液漏れ、発熱、破損のおそれがあります。
 - ・ ⊕ ⊖ (プラス、マイナス)を逆さに入れないでください。
 - ・ 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 時計を使わない時は電池を外してください。電池を入れたままにすると、電池の液が漏れて本製品やその周辺を腐食、人に危害を与える原因になります。
- 電池交換時は、すべて新しい電池と交換してください。その際、電池から液が漏れていないかを確認してください。
- 電池は約1年で交換してください。同一の電池を長期間で使用になりますと、電池の液が漏れて電極やその周辺が腐食することがあります。
- オキシライド電池、二次電池(充電式電池)は、本製品は低電圧のため連続的に使用した場合、アルカリ乾電池に比べて電池寿命が短くなる、適正に動作しないなどの不具合が生じるおそれがありますので使用しないでください。

静電気について

静電気の影響で、まれに異常動作を引き起こすことがあります。このような場合は、電池を一旦取り外して、そのままの状態でも10分程度放置後、再び電池をセットすると、正常に復帰することがあります。

お手入れについて

ケースが汚れた時は石けん水、水などを布に染み込ませ、かたく絞った上で拭き取ってください。シンナー、ベンジン、クリーナーなどは絶対に使用しないでください。